

DLP HIPAA ポリシーが SSN と一致しない

目次

[概要](#)

[説明](#)

概要

Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) では、データ損失防止 (DLP) で設定された医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA) ポリシーにより、本文に社会保障番号のみを含むメッセージは、ポリシー違反として検出されません。

説明

事前定義された DLP HIPAA ポリシー テンプレートは、医療関連のデータを検出するため、HIPAA ディクショナリ分類子を使用します。この分類子は、患者 ID 分類子とともに動作し、個人情報を検出します。HIPAA DLP ポリシーで DLP 違反を返すには、この分類子での一致に加えて、米国社会保障番号や米国国家プロバイダー認証などの個人情報との一致も必要となります。

例

- angina, cancer (一致)
- angina (複数の用語を必要とするため一致せず)
- headache, fever (一致)
- camphor glycerin (一致)
- fracture paralysis (一致)
- bite cut (一致)

米国社会保障番号分類子では、正しい形式の番号と誕生日や名前および「SSN」という文字列などの補足データが必要です。

例

- 321-02-3456 (補足情報がないため一致せず)
- 321-02-3456 July 4 (一致)
- 321-02-3456 7/4/1980 (一致)
- 321-02-3456 7/4 (一致せず)
- 321-02-3456 321-02-7654 (複数の SSN があるため一致)
- SSN 321-02-3456 (一致)
- Joe Smith 321-02-3456 (一致)

- 321-02-3456 CA 94066 (一致)